

たたかう労働組合・回転寿司ユニオンに総結集して、労使関係正常化闘争を完遂しよう！

労使関係の正常化をめざして

24

2026/7/30

編集・発行：回転寿司ユニオン

北陸地方のはま寿司店舗で7名のキャプテン・クルーが集団加入！ 企業内組合と訣別！ 労使関係正常化闘争完遂へ大きな一歩

きょう付の「Workers Unite!」第15号にある通り、北陸地方のはま寿司店舗で7名のキャプテンやクルーが回転寿司ユニオンに集団加入した。いずれも本人の意思とは無関係に入社の際企業内組合へ加入させられており、回転寿司ユニオンへの加入と同時に企業内組合を脱退、訣別した。

過去には北海道内で同じくキャプテンやクルーら4名が集団加入したケースがあったが、これを越える到達点である。

彼女たちの企業内組合への怒りは強く、組合員どうしのグループLINEでも「吉田さん（筆者注・回転寿司ユニオン書記長）のメッセージにもありますように もし、はま寿司ユニオン（同注・企業内組合の通称）の池田とか石田とか名乗る方が臨店されて我々に話しかけて来られましたら『そちらとお話する事は有りません』と勇気を持ってお断りください」「相手（御用組合）は新ユニオンの脱退を迫ってくるでしょう」「辺鄙な〇〇（同注・当該店舗の所在する地域名）まで来られるとしたら、あちらも命懸けですから、我々も命懸けで闘いましょう」とお互いを鼓舞し合っている。

彼女たちが加入に至ったのは、加入者のうち1人が会社によりひどい目に遭い、さらに当時加入していた（させられていた）企業内組合がまったく助けてくれなかったからだという。そこで、普段から信頼関係を有していたなかまたちで話し合い、勇気をもって回転寿司ユニオンに相談・加入してくれたのだ。

回転寿司ユニオンとしても、彼女たちの勇気と熱意に学び、当座の問題解決と本質的な要求実現・職場改善に向けて、ともにたたかっていく決意である。

すき家などゼンショーG各社でもにわかに企業内組合の案内が掲示され始める

回転寿司ユニオンののはま寿司での組織化と労使関係正常化闘争の進展につれて、はま寿司の企業内組合が臨店や掲示に力を入れ出していることは既報の通りだが、風聞によればそれだけではなく、すき家などゼンショーグループ各社でも、ゼンショー労連各単組の掲示物等がにわかに掲示され始めているのだという。タイミングからしても、明らかに私たちの運動を恐れていることが明白だ。

実際、私たちのもとにも、はま寿司以外のゼンショーグループではたらくなかまからの心痛極まりない相談が来ている。中には、「会社内にあるZEANという組合に相談しましたが十分な対応をとっていただけないため、こちらにご相談いたします」という一文で始まる相談もあり、はま寿司の企業内組合同様、真剣に組合員の悩みに向き合っていないことがわかる。

回転寿司ユニオンは、その組織対象を回転寿司産業ではたらく者とはしているが、綱領では「われわれは、全国の労働者、勤労国民、進歩的市民との連帯をすすめる（第4項）」と定めている。実際、非正規春闘では、なか卯のクルーを組織する組合とも共闘している。引続きこの綱領に従って、すべてのはたらくなかまの地位向上と要求実現のために奮闘していく。